

わたしたち日本 IDDM ネットワークの MISSION

2025年『治らない』から『治る』へ



すいあとべけはなぶよした。
ふたりがひたしとあわさると
みんなもきらきらしたのよ。すいあくん

絵：るかくん7歳（4歳発症）
「すいあくん」はるかくんの隣臓です。
頭の傷は、1型糖尿病発症時にたたかった時の傷だそうです。
※るかくんは当法人のボランティアとして頑張ってくれています。

Contents

特集②

低血糖アラート犬
プロジェクト始動！

3ページ

特集①

「糖尿病による
障害年金認定基準」

2ページ

「この1年の振り返りと来年に向けての決意」 理事長 井上 龍夫



この1年間（2017年）の活動を私たちの3つの活動ステージ「救う」、「つなぐ」、「解決する」の主なトピックスを挙げながら振り返ります。

「救う」ステージについては、今年の11月で開始から3年になる「希望のバッグ」プロジェクトが協賛企業の皆様のおかげで継続できました。多くの発症直後の患者・家族の皆さんに希望をお届けできたことと思います。受け取られた方から感謝のメッセージには、私たちスタッフも大いに元気づけられました。

今年は新しい試みとしてインスリンポンプ&持続血糖モニター(SAP療法)についての「安全講習会」をそのユーザー対象に5回開催しました。最新の高機能デバイスの正しい使用とトラブル対応について、必要な知識の普及・

教育を目指し、今後も継続してまいります。

「つなぐ」ステージは、患者・家族同士のコミュニケーションだけではなく、私たちの周りで支えていただいている様々な分野の方々との連携により、1型糖尿病や私たちの活動への理解や参加をいただく活動です。

「カーボカウントおよび先進デバイス活用セミナー」は今年も継続し、通算60回を超えます。医療従事者の方の参加も多く、「カーボカウント法」の日本での定着に貢献できたものと思っています。

1型糖尿病の絵本は、これまでに全国47都道府県の病院、図書館等に1000か所以上に置くことができ、病気の認知度向上にも繋がっていると思っています。

また、この2年間で集中的に研究助成を行ってきたバイオ人工膵島移植に関する社会的インパクト評価（専門家に委託）にも着手したところです。

「解決する」のステージは、1型糖尿病への根絶（治療、予防、根治）に向けた研究支援の活動です。2014年からスタートした佐賀県庁への「日本IDDMネットワーク指定ふるさと納税」、マンスリーサポーターの方々の

増加などを通じて、今年も多く寄付が集まりました。特に大きな期待を込めた「バイオ人工膵島移植」プロジェクトには、集中して研究費助成を行い、6月には総額1億5000万円の交付を終えたところです。これからのいよいよ研究が本格化してまいります。この研究進捗については継続して報告してまいります。

今後は、こうした根治の研究だけでなく、治療や予防の研究にも支援して参りますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。

今年には運営基盤の強化として在京の新しいスタッフも加わりました。大阪でのサイエンスフォーラムや全国各地のイベント、絵本を贈る作業など、多くのボランティアの方々にも支えられました。

企業の方々や寄付者の方々にも継続的に様々な形でご支援いただきました。

この場をお借りしてすべての皆様にあらためてお礼申し上げます。

1型糖尿病の根絶のために、そしてその日までの課題解決に向けて役職員一同、心をつ一つにして邁進してまいりますので、来年も今年以上のご協力と参加をよろしくお願いたします。

障害年金ってなぁに？

糖尿病による障害年金の認定基準

2016年6月1日、障害年金の審査に用いる代謝疾患（糖尿病）の障害認定基準が一部改正されました。治療を行ってもなお、血糖コントロールが困難な症状の方が障害厚生年金3級の対象となり、日本IDDMネットワークでも相談のお電話をいただくことがあるのですが、制度が複雑…。なので、社会保険労務士さんにお話をうかがい、まとめてみました。

あくまでここに記載されているのは概要なので、詳細については年金事務所や社会保険労務士さんにお尋ねください。

【障害年金とは】

障害年金は、病気やケガによって生活や仕事などが制限されるようになった場合に受け取ることができる公的年金です。

障害年金には以下の2種類があります。

障害基礎年金（対象：年金加入者、20歳未満または60歳以上65歳未満の年金未加入者）

障害厚生年金（対象：厚生年金加入者。障害基礎年金に上乘せ）

【障害認定日】

障害認定日とは障害の程度の認定を行うべき日をいい、傷病の初診日から起算して1年6ヶ月経過した日、又はその日までにその傷病が治癒した場合においては、その治った日（症状が固定し、治療の効果が期待できない状態に至った日を含む※）となります。障害年金は障害認定日を過ぎてからでなければ請求することができません。

※疾患により肢体の運動機能障害が生じた場合（下肢切断等）、慢性腎疾患により人工透析療法を行っている場合は、人工透析療法を受けはじめてから3ヶ月を経過した日など

- ・初診日から1年6ヶ月経過した日

障害等級	障害状態の目安	初診日に加入していた年金制度		
		国民年金	厚生年金	
1級	おおむね寝たきりで常時介護が必要	1級障害基礎	1級障害基礎	1級障害厚生
2級	随時介護が必要で、単身で生活（一人暮らし）できない	2級障害基礎	2級障害基礎	2級障害厚生
3級	日常生活にはほとんど支障はないが労働については制限がある。	—	—	3級障害厚生

- ・1年6ヶ月以内に傷病が治癒した場合はその日
- ・上記2つが20歳前にある場合は、20歳の誕生日の前日

【障害年金の受給資格】

年金に加入し、年金保険料を支払っていればもしものときは誰でも受給することができます。

- ・初診日に国民年金、厚生年金、共済年金のいずれかに加入していること
- ・または初診日が20歳未満で、成人しても障害が続いていること
- ・障害の原因となった傷病やけがについて初診日が特定できること
- ・初診日月の前々月までの被保険者期間（加入期間）の3分の2以上支払っているか、直近1年間支払っている（保険料免除期間は未納期間扱いにならない）こと

【障害状態の目安と

支給障害年金】

障害状態の目安はおおむね次のとおりで、個別に分析が必要です。障害基礎年金は1級と2級のみで、3級は対象外となります。

【糖尿病における

障害厚生年金3級の条件】

2016年6月1日より障害年金の審査に用いる代謝疾患（糖尿病）の障害認定基準が一部改正され、「治療を行ってもなお、血糖コントロールが困難な症状の方」＝「以下の条件にあてはまる方」

は障害厚生年金3級の対象になります。

- 1 初診日に厚生年金に加入していること
- 2 検査日より前に、90日以上継続して必要なインスリン治療を行っていること
- 3 次のいずれかに該当すること
 - ・自分自身の膵臓から分泌されるインスリンがほぼ枯渇している（血清Cペプチド値が0.3mg/ml未満）。
 - ・低血糖昏睡をひと月に平均して一回以上起こしている。
 - ・インスリン治療中に高血糖昏睡を一年に一回以上起こして入院している。
- 4 就労できない ※就労の形態によっては対象になる。

【社労士さんからのコメント】

注意する点は国民年金（制度の名称・支給される年金は障害基礎年金）は3級が対象外という点です。高血糖や低血糖だけでは2級以上の障害国民年金の認定がむずかしく、他の合併症との総合的判断とされています。

支給される障害年金の額は、加入していた年金や障害の程度、また、配偶者の有無や子どもの数などによって異なります。

なお、障害認定日が過ぎている場合は、以降5年間は遡及して受け取ることができます。

障害年金の詳細は、「ねんきんダイヤル」0570-05-1165 又は最寄りの年金事務所や年金相談センターに問い合わせてください。

「低血糖アラート犬」の育成に向けた新しい取り組みがスタート！

この度、日本IDDMネットワークは、殺処分ゼロへのチャレンジや災害救助犬やセラピー犬の育成などの活動を続けられるピースウィンズ・ジャパンさん（広島県神石高原町）と協働して、殺処分を逃れた保護犬の中から低血糖アラート犬を育成する取り組みを始めることとなりました。

米国や欧州など海外では既に実用化されている低血糖アラート犬は、患者が低血糖時に発する臭いをその類まれなる嗅覚で察知し、低血糖を知らせてくれる訓練犬です。遊びに夢中になっている際に低血糖を起しやす子どもたち、低血糖症状が現れにくくなるという高齢者の方や罹患歴が長い方など無自覚低血糖に悩む方はもちろん重症低血糖の頻度が多い方にも安心をもたらしてくれるのではないかと期待しています。



保護犬のだんごちゃんと患者のりあんちゃん

先日、この低血糖アラート犬の育成に関わるトレーナーの養成、そして、犬の嗅覚トレーニングの際に必要な患者の呼気サンプル（息）を集める機器の購入のためにクラウドファンディングを行い、179名の方から3,058,000円もの寄付の申し込みをいただきました。ご協力いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。

私の念願でもありました低血糖アラート犬の育成がいよいよ国内でスタートできることを本当に嬉しく思っております。新しい挑戦に今後ともご支援ならびにご協力のほどよろしくお願いいたします。

専務理事 大村詠一



革新的製品に
思いやりを込めて。

Lilly

日本イーライリリーは製薬会社として、人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、中枢神経変性疾患、疼痛、がん、糖尿病、成長障害、筋骨格系疾患、自己免疫疾患などの領域で、日本の医療に貢献しています。

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086 神戸市中央区磯上通 7-1-5
www.lilly.co.jp

大阪でチャリティーコンサートが開催されました！

2017年9月8日、NHK大阪ホールで(一社)難病患者を支える会主催の「1型糖尿病患者研究支援チャリティーコンサート」が開催されました。このコンサートは、毎年チャリティーコンサートを開催されていた方のお孫さんが1型糖尿病を発症され、1型糖尿病患者さんを支援したい！1型糖尿病が治る病気になるよ

うに支援をしたい！という熱い想いで開催されたものです。井上龍夫理事長も会場を訪れ、開会式では挨拶とお礼を述べ、寄付の目録をいただきました。1型糖尿病患者でありアーティストであるI-GATAさん、HANZOさん、WAKABOさんも出演され、コンサートは大盛況でした。



年末年始に不要品のご寄付をお願いします！

大掃除等で不要になったものをご提供ください。

不要の古本・DVD (チャリボン)

不要になった本・CD・DVD・ゲームソフトなどを株式会社バリューブックス様へお送りいただくと、買取金額が日本 IDDM ネットワークへ寄付されます。5冊以上は無料で集荷に来ていただけます。職場や学校で古本などを集める活動もなされています。

IDDM 古本 検索



不要の貴金属・ブランド品 (お宝エイド)

自宅に眠っている貴金属、ブランド品、テレカ、商品券、古銭古紙幣、骨董品などを、お宝エイド様に着払いでお送りいただくと、買取金額に10%が上乘せされ日本 IDDM ネットワークへ寄付されます。



IDDM お宝エイド 検索

書き損じハガキ

書き損じハガキ、未使用切手は直接事務局にお送りください。



IDDM ハガキ 検索

1型糖尿病根絶に向けた研究助成に活用させていただきます。

【会員限定！】阪神タイガース岩田稔投手との交流会開催

毎年、日本 IDDM ネットワークの会員限定でご案内している阪神タイガース岩田稔投手との交流会を今年は7月25日と27日に開催いたしました。25日は岩田投手が登場！サイン入りの黄色いTシャツを岩田投手から直接受け取り、質問コーナーで色々なことをきいてみたり、記念写真を

撮っていただいたり。参加されたみなさんはとても喜んでいました。27日は岩田投手の今シーズン先発初登板の日！そのため岩田投手と直接会うことはできませんでしたが、参加者全員で岩田投手への応援メッセージを録音し、岩田投手に渡しました。マスコットキャラクターのキー太君が大活躍してくれて楽しい

時間となりました。7月25日(火)、27日(木)ともに、交流会のあとは阪神タイガース対横浜DeNAベイスターズの試合を阪神甲子園球場で観戦。27日は岩田投手の初登板を見ることができました。岩田投手、いつも希望をありがとうございます！



“ゴールデンスピリット賞” 受賞おめでとうございます！！

11月7日、プロ野球の社会貢献活動を表彰する報知新聞社主催の第19回ゴールデンスピリット賞に岩田稔投手が選ばれました。こうした交流会や1型糖尿病研究基金への1勝ごとに10万円の寄付等が評価されての受賞です。益々の活躍を願っています。

■新役職員からのご挨拶■

理事

中島 恵

高校生の頃に発症し、患者歴約15年の中島恵と申します。座右の銘は、「卵を割らなければオムレツは作れない」です。この病気にかかったから、それ以前の自分に比べて心配事が増えた気はしますが、内にこもることなく、積極的に殻を破っていきたいと思っています。皆様と共に、いつかこの病気を「治る病気」にするためにも、微力ながらお役に立てたらと思っていますので、宜しくお願いいたします。

事務局次長

山北 洋二

縁あって在京スタッフとなった山北洋二です。遺児の進学を支えるあしなが運動に長年参画していました。あしなが運動は遺児自身の問題を後輩遺児のために行動した当事者運動です。日本IDDMネットワークも「治らない」から「治る」の強い意思の患者・家族会です。忙し過ぎる業務を、自らの仕事を終えて無報酬で頑張ってもらえる役員さんや、子育てをしながら電話とメールで仕事をこなす職員の皆さんに負けずに、ファンレイジング（募金）に頑張ります。

事務局

谷口 成子

4月から事務局にお世話になっております、谷口成子です。これまで知っているつもりでいた1型糖尿病のことも日本IDDMネットワークの活動のことも中に入ってみると知らないことが多く勉強の日々です。日本IDDMネットワークでの活動を通じて、ある日突然1型糖尿病を発症して戸惑ってらっしゃる方やご家族の不安なお気持ちに少しでも寄り添うことが出来れば・・・と思っています。



ノボ ノルディスクは変革を推進し、
糖尿病やその他の深刻な慢性疾患の克服に取り組んでいます。



ノボ ノルディスクは世界に展開するヘルスケア企業として、90年以上にわたり糖尿病ケアの革新をリードしてきました。この受け継がれた伝統によって得た経験と可能性により私たちは、血友病や成長障害、そして肥満など、糖尿病以外の深刻な慢性疾患を抱える方々もサポートしています。

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命ビル
電話(03)6266-1000(代表) FAX(03)6266-1800
www.novonordisk.co.jp

JP/CD/1017/0593 (2017年10月作成)



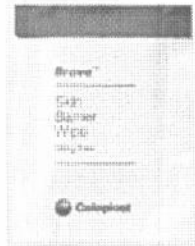
インスリンポンプの皮膚トラブル対策

最近インスリンポンプ利用者が増えて来たため、皆さんからインスリンポンプの皮膚トラブルについての相談も多くなってきました。

寄せられた皮膚トラブル相談の対策について、実際に数多くのインスリンポンプを利用している患者の皆さんを診られている「D Medical Clinic Osaka」院長の広瀬正和先生に情報提供をお願いいたしました。その一部をご紹介します。

<ポンプの注入セットでのトラブル> インスリンポンプは通常3日に1

様々な皮膚保護材



回注入セットの交換をしますが、細菌感染を起こすとインスリンの効きが悪くなり2日毎の交換が必要となる場合があります。

<かぶれのトラブル対策> 軟膏を塗る

ステロイド入りの軟膏を処方してもらう。もしくは主治医に従った薬の用法容量を守る。リンデロン®、キンダバート®、ロコイド®などの軟膏はステロイドの軟膏を1日に2回程度薄く塗っておく。

皮膚保護剤を使用する

ご自身の肌に合うもの（保険適用

外の為自費購入）を見つけて行くことが必要。

1型糖尿病をお持ちの皆さんは、皮膚トラブルを起こしやすいこともあるので、トラブルを起こしにくくするために！主治医とよく相談の上自身にあったオリジナルのトラブル時の対策、保護を心がけてほしいと思います！

また小さなお子さんをお持ちのご両親には、夏場、ポンプ使用時に原因不明の高血糖になった時はカニューレ部分の炎症や膿んでいないかもチェック項目の一つに入れて頂けると解決も早いかもしれません。

このインスリンポンプ使用時の皮膚トラブル対策！詳しくは、日本IDDMネットワークのオウンドメディア『PRESS IDDM』をご覧ください。URL <http://press-iddm.net/diabetes/iddm/2781/>



© Elis Bernager / Stone / Getty Image

サノフィは、グローバルに多角的事業を展開するヘルスケアリーダーとして患者さんのニーズにフォーカスしています。

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー www.sanofi.co.jp


SANOFI

アボットジャパンのグルコースモニタリングシステム「FreeStyleリブレ」が保険適用に！

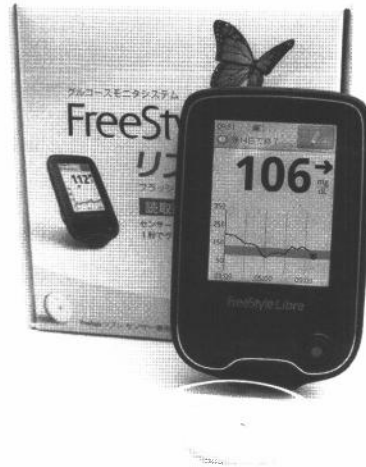
すでにご存知の方も多いかと思いますが、アボットジャパン社のグルコースモニタリングシステム「FreeStyleリブレ」が9月1日から保険適用となりました。これにより処方希望する対象者（インスリン製剤やGLP-1受容体作動薬を使用中の患者など）は、「血糖自己測定器加算」が準用技術料として加算されます。

この新しいデバイスは、皮下にセンサー（画像下側の500円玉サイズ程度の白い機器）を挿入して間質液中のグルコース濃度を連続的に測定し、リーダー（画面中央の黒い機器）でSuicaやPASMOなどのようにスキャンすることで、連続測定されたグルコース濃度の変動パターンなどを把握することができます。

一度装着すると2週間は好きなだけスキャンすることができ、グルコース濃度の値と傾向を把握するこ

とができるため、欧州で発売された2年前から日本参入が期待されて、昨年5月に医療機器としては承認を受けていましたが、ようやく保険適用が実現しました。

しかしながら、施設制限はないものの、少々複雑な保険適用のため、日本全国の医療機関で採用されているわけではないのが現状です。導入の見込みやその時期などについては、かかりつけの医療機関でご確認をお願いいたします。



保険適用された「FreeStyleリブレ」



FUJIFILM
Value from Innovation

その先の、 その先へ。

富士フィルム ファーマは
多様な医療のニーズに応える医薬品を提供するため、
常に新しいステージに向かって進んでいます。
総合ヘルスケアカンパニーに向けて新しいステージを進む、
これからの私たちにご期待ください。

富士フィルム ファーマ株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番30号 <http://ffp.fujifilm.co.jp>
お問い合わせ お客様相談室 ☎0120-121210
営業時間9:00~17:30（土、日、祝日及び当社休日を除く）

2016年10月作成

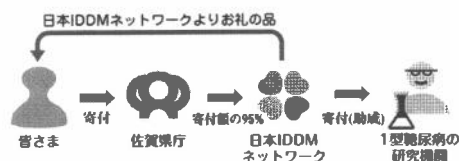
イベント情報

詳しくはWebをご覧ください。 [日本IDDMネットワーク](#)

佐賀県庁へ“日本IDDMネットワーク”を指定して、ふるさと納税にご協力ください！

佐賀県庁のご協力により、佐賀県庁へ日本IDDMネットワーク指定でふるさと納税（佐賀県庁への寄付）された場合、寄付額の95%が、1型糖尿病の治療、根治、予防に挑戦する専門家に方々への研究費助成のために活用できるようになりました。

おかげで1億5000万円をこえる研究助成を行うことができます。佐賀県庁へふるさと納税された場合は、以下の税制優遇措置があります。個人の方は、2000円を超える寄付をすれば、一定限度額まで、寄付額とほぼ同額が支払うべき税金から納税軽減（還付、減税）されます。企業の方は、全額損金算入できます。



詳しくはWebをご覧ください。 [IDDM ふるさと納税](#)

<http://japan-iddm.net/furusato/>
最新の研究助成プロジェクトは↓から
<https://www.furusato-tax.jp/gcf/224>

1月14日(日)カーボカウント&先進デバイス活用セミナー in 東京

日時：2018年1月14日(日) 10:30～16:30 (10:00開場)
会場：貸教室・貸会議室 内海（本館東京学院ビル）3階教室（東京都千代田区三崎町3-6-15）
講師：広瀬正和先生（D Medical Clinic Osaka 院長）
定員：120名（先着順）

1月21日(日)カーボカウント&先進デバイス活用セミナー in 愛知

日時：2018年1月21日(日) 10:30～16:30 (10:00開場)
会場：東別院会館 2階 蓮・橘（愛知県名古屋市中区橘2-8-45）
講師：広瀬正和先生（D Medical Clinic Osaka 院長）
定員：110名（先着順）

2月24日(土)カーボカウント&先進デバイス活用セミナー in 大阪

日時：2018年2月24日(土) 10:30～16:30 (10:00開場)
会場：ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）5階特別会議室（大阪市中央区大手前1-3-49）
講師：川村智行先生（大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 講師）
定員：110名（先着順）
参加費：市町村民税非課税世帯の方は無料です。お申し込みの際に事務局までメール等でご連絡ください。

「カーボカウント」は炭水化物量に注目したインスリン量調節法です。お昼ご飯で実践しながら一緒に学びましょう！



事務局だより

日本IDDMネットワークの事務局は、事務局長（平日の日中不在）と事務局次長（関東在住）と、東京・千葉・佐賀・熊本で業務を行う女性たちで成り立っています。業務は多く、職員も各地にいるので、いろいろと大変なこともあります。皆さんからの励ましの言葉を原動力に、これからもがんばります！そしてそんな事務局を手伝ってくださるボランティアさんも大募集中です！

発行元

認定特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク
事務局 〒840-0823 佐賀県佐賀市柳町4-13

<http://japan-iddm.net/>

相談電話

080-3549-3691 飯田（いいだ）
090-2713-7849 陶山（すやま）

事務局連絡先

TEL 0952-20-2062

FAX 020-4664-1804

E-mail info@japan-iddm.net